

## 死生観

俳優の樹木希林さんが亡くなられました。乳がんを患い13年間。「全身にがんが出てきて」（本人談）、三十数カ所も治療をしたということでした。メディアを通してみる希林さんは、がんであることが分からないくらい普通でした。

困でこなしでいらっしやいました。

私はお二人の死を通じて、さまざまなことを考えさせられました。児玉さんは痛み止めを使わずがんに正面から向き合っていく道を、希林さんはがんを受け止め共に生きていく道を選んだのではないかと思います。

私は末期がんの患者さんと



## ホスピスから

<108>

下松市・阿部クリニック院長 阿部政則

以前このコラムでお話させていたいただいた児玉清さんも胃がんの全身転移で亡くなられました。児玉さんは、がんの痛みと闘いながら、最後はがんに負けてしまったと言っていました。まさに闘病でした。しかし、希林さんは普段がんの痛みを感じつつも、ご自分で日常生活を送ることができ、仕事もできる範

お話しする時、がんと一緒に生きていきたいと思います。高血圧や糖尿病のように、必要なお薬を飲んで体調を整えることができるなら、がんとけんかせずに日々を送れます。そのためには、死を受け入れる覚悟が要ります。「死生観」について考える時間を持つことは大切だと思います。

平成30年10月1日 毎日新聞より